

株式会社 マックス

〈事業計画名〉高性能パウチ充填包装機の導入によるパウチ品の効率的な生産体制の構築



新機器導入によって増大した生産力と 向上した対応力で新領域の開拓を目指す

事業の背景

需要に追いつけない生産力の改善が必須課題

創業以来、固形石鹸・液体洗浄料・入浴剤等のトイレタリー商品を基盤事業領域として製造・販売を行ってきたが、現在の市場においては、固形石鹸の需要が減少傾向にある一方で、主力商品である液体洗浄料（ボディソープ）、特に詰め替え用や大容量のパウチ品の需要が高まっている。

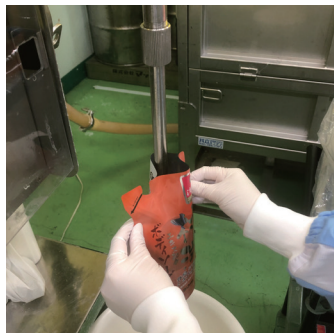
しかし、当社の保有の充填包装機では需要に対し生産力が追いついておらず、加えて性能的な問題で充填できる粘度に制限があり、高粘度製品は手作業が必要になるなど、新製品の開発・生産もままならない状況であった。

事業の成果

生産効率向上と新製品開発が可能に

本事業において高性能パウチ充填包装機を導入したことで、当社の液体製品生産量の7割を占めるパウチ品の生産効率は全体として約2.5倍の向上が実現した。また、1袋毎のリードタイム短縮・生産数増加により内製化率が上がり、外注費や残業代などの経費削減にも効果が表れた。

更に、現行機では困難だった高粘度製品の充填が可能となった事で新製品開発にも拍車がかかり、機能性の高い商品の開発に加え、スキンケア分野の新製品開発についても商品化後に憂いのない量産体制の構築が実現した。



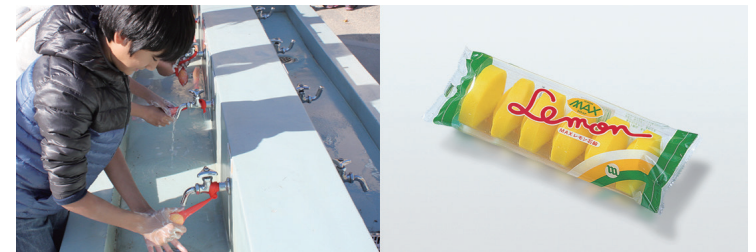
株式会社マックスの経営理念

“商品・サービスを通じてお客様の悩みを解決し、お客様に笑顔をお届けする”を実現する為に

当社の創業は明治38年。当然ながら現在ほどの優れた衛生環境は整っておらず、石鹸で手や身体を洗って衛生を保つ事が生きる上で非常に重要な要因となる時代だった。

「一人でも多くの人が健康に暮らせるよう、楽しみながら洗ってほしい」と願いを込め、小学校の手洗い用に広く使われていたレモン石鹸を始めとして、その時代のニーズに合ったトイレタリー商品やスキンケア商品など幅広く展開し、今日に至っている。

現在は「弱いお肌の強い味方に」というコーポレートメッセージを掲げ、敏感肌用ボディソープや代謝促進効果のある入浴剤、ニオイを防ぐ石けん等のお客様の悩みを解決する自社商品の開発に注力している。



株式会社マックスの取り組み

商品を通じて地域社会問題・環境問題の解決の一助にも貢献

近年では、「地域共創」を目的として、奈良県や近畿大学との産学官連携によって開発した奈良のご当地コスメ「やまとcosmetic」を展開。地元特産品の柿の葉・菜種油・ごろごろ水・地酒を美容成分として高配合し、世界でニーズが高まりつつある動物性の成分を一切配合しない「ビーガンコスメ」として、女性の美容のサポートと共に、奈良の魅力を伝えている。



また、環境問題への取り組みとして、SDGsや海洋プラスチックゴミ問題に対し、当社が出した1つの回答が固形タイプの「The BAR」シリーズである。

「The BAR」は単なる固形シャンプーではなく、液体シャンプーから水分を抜き固形化する技術を開発して完成したもので、従来品より機能成分を高濃度に配合でき、加えてプラスチック容器を一切使用しない事でサステナブルな「人にも環境にも優しい」製品として展開している。

2021年に創業116年を迎え、「商品を通じてお客様の悩みを解決し、笑顔をお届けする」を経営理念として、今後も社会に必要とされる企業であるために、地域社会の問題解決の一助となる活動にも積極的に取り組んでいく。

株式会社 マックス

業種分類 化学工業

事業内容 石けん、ボディソープ、シャワー、コンディショナー、入浴剤、化粧水、ボディクリーム等の化粧品、及び医薬部外品の企画・製造販売

代表者名 代表取締役社長 大野 範子

ホームページ <https://www.soapmax.co.jp/>

所在地 (本社)大阪府八尾市植松町2-9-29
(奈良工場)奈良県橿原市曽我町12-4

E-MAIL info@soapmax.co.jp

連絡先 TEL:072-994-5050/FAX:072-994-4531